

49:1 ヤコブはその子らと呼び寄せて言った。「集まりなさい。私は終わりの日に、あなたがたに起こることを告げよう。 49:2 ヤコブの子らよ。集まって聞け。あなたがたの父イスラエルに聞け。 49:3 ルベンよ。あなたはわが長子。わが力、わが力の初めの実。すぐれた威厳とすぐれた力のある者。 49:4 だが、水のように奔放なので、もはや、あなたは他をしのぐことがない。あなたは父の床に上り、そのとき、あなたは汚したのだ。——彼は私の寝床に上った—— 49:5 シメオンとレビとは兄弟、彼らの剣は暴虐の道具。 49:6 わがたましいよ。彼らの仲間に加わるな。わが心よ。彼らのつどいに連なるな。彼らは怒りにまかせて人を殺し、ほしいままに牛の足の筋を切ったから。 49:7 のろわれよ。彼らの激しい怒りと、彼らのはなはだしい憤りとは。私は彼らをヤコブの中で分け、イスラエルの中に散らそう。 49:8 ユダよ。兄弟たちはあなたをたたえ、あなたの手は敵のうなじの上であり、あなたの父の子らはあなたを伏し拝む。 49:9 ユダは獅子の子。わが子よ。あなたは獲物によって成長する。雄獅子のように、また雌獅子のように、彼はうずくまり、身を伏せる。だれがこれを起こすことができようか。 49:10 王権はユダを離れず、統治者の杖はその足の間を離れることはない。ついにはシロが来て、国々の民は彼に従う。 49:11 彼はそのろばをぶどうの木につなぎ、その雌ろばの子を、良いぶどうの木につなぐ。彼はその着物を、ぶどう酒で洗い、その衣をぶどうの血で洗う。 49:12 その目はぶどう酒によって曇り、その歯は乳によって白い。 49:13 ゼブルンは海辺に住み、そこは船の着く岸辺。その背中はシドンにまで至る。 49:14 イッサカルはたくましいろばで、彼は二つの鞍袋の間に伏す。 49:15 彼は、休息がいかにも好ましく、その地が、いかにも麗しいのを見た。しかし、彼の肩は重荷を負ってたわみ、苦役を強いられる奴隷となった。 49:16 ダンはおのれの民をさばくであろう、イスラエルのほかの部族のように。 49:17 ダンは、道のかたわらの蛇、小道のほとりのまむしとなって、馬のかかとをかむ。それゆえ、乗る者はうしろに落ちる。 49:18 【主】よ。私はあなたの救いを待ち望む。 49:19 ガドについては、襲う者が彼を襲うが、彼はかえって彼らのかかとを襲う。 49:20 アシエルには、その食物が豊かになり、彼は王のごちそうを作り出す。 49:21 ナフタリは放たれた雌鹿で、美しい子鹿を産む。 49:22 ヨセフは実を結ぶ若枝、泉のほとりの実を結ぶ若枝、その枝は垣を越える。 49:23 弓を射る者は彼を激しく攻め、彼を射て、悩ました。 49:24 しかし、彼の弓はたるむことなく、彼の腕はすばやい。これはヤコブの全能者の手により、それはイスラエルの岩なる牧者による。 49:25 あなたを助けようとされるあなたの父の神により、また、あなたを祝福しようとされる全能者によって。その祝福は上よりの天の祝福、下に横たわる大いなる水の祝福、乳房と胎の祝福。 49:26 あなたの父の祝福は、私の親たちの祝福にまさり、永遠の丘のきわみにまで及ぶ。これらがヨセフのかしらの上であり、その兄弟たちから選び出された者の頭上にあるように。 49:27 ベニヤミンはかみ裂く狼。朝には獲物を食らい、夕には略奪したものを分ける。」 49:28 これらすべてはイスラエルの部族で、十二であった。これは彼らの父が彼らに語ったことである。彼は彼らを祝福したとき、おのおのにふさわしい祝福を与えたのであった。 49:29 彼はまた彼らに命じて言った。「私は私の民に加えられようとしている。私をヘテ人エフロンの畑地にあるほら穴に、私の先祖たちといっしょに葬ってくれ。 49:30 そのほら穴は、カナンの地のマムレに面したマクペラの畑地にあり、アブラハムがヘテ人エフロンから私有の墓地とするために、畑地とともに買い取ったものだ。 49:31 そこには、アブラハムとその妻サラとが葬られ、そこに、イサクと妻リベカも葬られ、そこに私はレアを葬った。 49:32 その畑地とその中にあるほら穴は、ヘテ人たちから買ったものである。」 49:33 ヤコブは子らに命じ終わると、足を床の中に入れ、息絶えて、自分の民に加えられた。

## はじめに

49 章を理解する鍵は、28 節にあります。  
ここに、この個所の教える内容が集約されています。

49:28 これらすべてはイスラエルの部族で、十二であった。これは彼らの父が彼らに語ったことである。彼は彼らを祝福したとき、おのおのにふさわしい祝福を与えたのであった。

死期を迎えたヤコブは、息子たちを全員集めました。彼らの未来を預言するためです。

人の最期の言葉は重要ですが、中でもヤコブのような重要人物の最期の言葉はとくに重みがあります。

この学びの初めには、皆さんも私と同じように、この個所は私に何を伝えようとしているのかと思うでしょう。

確かに、このみことばは私たちに何かを伝えようとしています。神のみことばは時代や文化を超えて、人に語り掛けるからです。

聖書は生ける神のみことばですから、今日の学びも生きたものにしていきたいと思います。

この個所に記された真理を見出し、それが当時の人々と現代の私たちにとってどのようにかわってくるかを学ぶために、いくつかのことを考える必要があります。

次に挙げる問いの答えを今日の学びの中で導き出していきましょう。そうすれば、この個所の理解がこれまで以上に深まるでしょう。

1. 息子たちに関するヤコブの預言は成就したのだろうか。
2. エジプトでやがて死に、イスラエルの約束の地にたどりつくことはないヤコブの息子たちにとって、この預言はどういう意味があったか。
3. ここにあるヤコブと息子たちの会話をモーセが記録したのはなぜか。
4. ユダも罪人であるのに誰よりも大きな祝福を得た一方、ルベン、シメオン、レビは、彼らの罪深い行いについて父から叱責を受けたのはなぜか。ユダは、救い主イエス・キリストの先祖となる。
5. これらの預言から、現代の私たちが学べることは何か。

今日の聖書個所を学び始める前に、覚えておくべきことがあります。それは、この個所に記された「預言」を学んでいるということです。預言とは、未来の出来事や状況をあらかじめ告げることです。

この預言は、ヤコブの息子たちの子孫に起こる事柄を啓示します。

つまり、未来のイスラエル民族に関する預言です。

この預言は、神の選民イスラエルの未来について告げているわけです。

私たちが探しているのは、具体的な出来事による成就ではなく、包括的な成就です。

次に覚えておくべきことは、この個所は「祝福」に関するみことばであることです。

ここに書かれているのはヤコブの祝福の言葉であると記されています。

ヤコブの息子たちの子孫は皆、イスラエルの民の一員であるという祝福を受けています。

彼らは皆カナンの地に行き、その地を受け継ぐのです。

もちろん、祝福の内容に差はあります。

さらに、28 節に記されているとおりに、未来の預言は過去と無関係ではありません。

息子たちはそれぞれ、各人に見合った祝福を受け取りました。

つまり、彼らの祝福は過去の行いと関わりがあるということです。

ユダはおそらく例外と言えるでしょう。しかしそれには理由がありました。それについては後ほどわかります。

では、今日のみことばから、ヤコブが 12 人の息子たちに与えた祝福について学んでいましょう。

### 1. 長男・次男・三男に対する裁きの祝福（2-7 節）

2-7 節には、ルベン、シメオン、レビに対する裁きの祝福が記されています。

ルベンは長男だったので、最大の祝福を受けるべき人物でした。

長男は、他の息子たちの 2 倍を受け継ぐのです。

しかし、祝福は彼から取り上げられて、ヨセフに与えられました。

歴代誌第一 5:1 イスラエルの長子ルベンの子孫——彼は長子であったが、父の寝床を汚したことにより、その長子の権利はイスラエルの子ヨセフの子に与えられた。系図の記載は長子の権利に従って行うものではない。

こうして、父親が大いに期待していたルベンは、長男の務めを果たさず、受けるべき祝福を失いました。

彼は、「水のように奔放」だと表現されています。

ルベンは、性的欲望よりも政治的欲望が大きかったと考える注釈者もいます。

長男という立場にありながら、それ以上を求めたのです。

さらなる権力、さらなる繁栄、というわけです。

家族を意のままに動かし、父に取って代わろうとしました。

これこそまさに、御使いが墮落して悪魔となった原因です。

悪魔には、竜、サタン、悪魔、惑わす者、空中の権威を持つ支配者などあらゆる呼び方があります。

サタンの起源を知っておくのは大切ですので、それについて教える箇所を読みましょう。

これらの箇所は、それが記された時代の出来事と関連していますが、サタンの起源とサタンが天から追放された理由について述べていることは間違いありません。

### イザヤ書 14 : 12-14

14:12 暁の子、明けの明星よ。どうしてあなたは天から落ちたのか。国々を打ち破った者よ。どうしてあなたは地に切り倒されたのか。 14:13 あなたは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山にすわろう。 14:14 密雲の頂に上り、いと高き方のように上ろう。』

### エゼキエル 28 : 13-15

28:13 あなたは神の園、エデンにいて、あらゆる宝石があなたをおおっていた。赤めのう、トパーズ、ダイヤモンド、緑柱石、しまめのう、碧玉、サファイヤ、トルコ玉、エメラルド。あなたのタンバリンと笛とは金で作られ、これらはあなたが造られた日に整えられていた。

28:14 わたしはあなたを油そそがれた守護者ケルブとともに、神の聖なる山に置いた。あなたは火の石の間を歩いていた。 28:15 あなたの行いは、あなたが造られた日からあなたに不正が見いだされるまでは、完全だった。

この世のすべての悪の裏には常に悪魔が潜んでいるのです。

では次に、シメオンとレビについてです。

ふたりとも、神を恐れぬふるまいをしました。

彼らは、「暴虐の道具」と記されています。これはずいぶんな言われ方です。

ふたりの問題は、暴力と無意味な破壊行為でした。これが原因で、彼らは分裂し、散り散りになります。

(ここでは読みませんが、創世記 34 : 25-30 に彼らの蛮行が記されています。)

創世記 11 章で、結託して神に背いた人々が言語の混乱によって散り散りになりましたが、それと同じ結果です。

## **2. 恵みによるユダの繁栄 (8-12 節)**

創世記を学んできた私たちは、未来の祝福の約束がユダに与えられるとは考えないでしょう。彼も他の兄弟と同罪だからです。

しかし、ヨセフの人生の学びをとおして、神はユダの人生に働き、恵みによって彼を変えてくださったことがわかりました。

先日学んだばかりですが、その中で、彼はよりよい人間に変わり、弟を救うために自分のいのちを犠牲にしようとするほどでした。

ユダは、獅子の子となり、その子孫は大きな祝福を得、大きな祝福を与える存在となります。

ユダとその子孫には、明らかに大きな恵みが注がれています。というのも、彼らの中からユダヤ人の救い主イエス・キリストをとおして「恵みの福音」が生まれるのです。

もっとも重要な事柄が 10 節に記されています。

49:10 王権はユダを離れず、統治者の杖はその足の間を離れることはない。ついにはシロが来て、国々の民は彼に従う。

ヤコブは、ユダ族の中からイスラエルの王が出ると預言しました。  
この預言は、救い主が来られるまでユダが常に王位を継承すると明言しています。  
歴史において、この預言は成就しました。

### 3. その他の兄弟たちへの祝福 (13-21 節、27 節)

13-21 節および 27 節は、他の兄弟たちに与えられた祝福について語ります。  
これらの祝福は簡潔に記され、その解釈がむずかしいものもあります。  
ゼブルンは海辺に住み、船乗りの一族になります。  
イッサカルは、たくましいろばで、彼は二つの鞍袋の間に伏し、働き者になります。  
ダンはしっかりと自らを守ります。  
ガドは戦略に長けた者。  
アシェルはごちそうを食べ、たくさんの収穫を生み出します。  
ナフタリは放たれた雌鹿で、美しい子鹿を産みます。  
彼らについてはあまり否定的な言葉はありません。  
これらの預言は全般的なものであり、それほど具体性や重要性はありません。

### 4. ヨセフへの祝福 (22-26 節)

22-26 節で、モーセはヨセフへの祝福について記しています。  
ヨセフの未来は、実り多い祝福に満ちたものとして描かれています。  
ヨセフは昔、兄たちからひどい仕打ちを受けました。  
また、エジプトでの生活を始めてまもなく、無実の罪で投獄されました。  
それでも彼は動じず、困難をばねとして豊かな品性を身に付けました。そして彼は、エジプトでの最高職に就きました。  
つらい時にヨセフを支え、具体的な目的を果たすために彼を高い地位に引き上げてくださったのは、全能の神、ヤコブの神ご自身です。  
ヨセフは大きな祝福を得ようとしていました。  
彼は、ヤコブが与える祝福を受けるにもっともふさわしい人物でした。

最後に、ベニヤミンへの祝福が 27 節に記されています。

49:27 ベニヤミンはかみ裂く狼。朝には獲物を食らい、夕には略奪したものを分ける。」

ヤコブは、ベニヤミンをかみ裂く狼と呼びます。これは要注意人物です。  
彼は凶暴で攻撃的です。士師記 19-21 章を読めば、ヤコブの預言が本当だったことがわかります。  
息子たちに対するヤコブの預言について簡単に説明しましたので、ヤコブの預言の目的を知るために挙げた最初の問いを見ていきましょう。

#### (1) ヤコブの預言は細かいところまでそのとおりに成就したか。

この答えは、「まだ」です。成就した内容もありますが、まだ成就していない内容もあります。  
では、まだ成就していない預言についてどう説明することができるでしょう。  
まず、イスラエルの歴史は終わっていません。  
イスラエルの歴史は現在進行形です。  
イスラエルに対する神のご計画は完了していません。  
イスラエルに関わる旧約聖書の預言でまだ実現していないものはいくつもあります。  
それは、実現しないということではなく、まだ実現していないということです。

## ローマ 11 : 11-27

11:11 では、尋ねましょう。彼らがつまずいたのは倒れるためなのでしょう。絶対にそんなことはありません。かえって、彼らの違反によって、救いが異邦人に及んだのです。それは、イスラエルにねたみを起こさせるためです。 11:12 もし彼らの違反が世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、彼らの完成は、それ以上の、どんなにかすばらしいものを、もたらすことでしょう。 11:13 そこで、異邦人の方々に言いますが、私は異邦人の使徒ですから、自分の務めを重んじています。 11:14 そして、それによって何とか私の同国人にねたみを引き起こさせて、その中の幾人でも救おうと願っているのです。 11:15 もし彼らの捨てられることが世界の和解であるとしたら、彼らの受け入れられることは、死者の中から生き返ることではなくて何でしょう。 11:16 初物が聖ければ、粉の全部が聖いのです。根が聖ければ、枝も聖いのです。 11:17 もしも、枝の中のあるものが折られて、野生種のオリーブであるあなたがその枝に混じってつがれ、そしてオリーブの根の豊かな養分をともに受けているのだとしたら、 11:18 あなたはその枝に対して誇ってはいけません。誇ったとしても、あなたが根をささえているのではなく、根があなたをささえているのです。 11:19 枝が折られたのは、私がつぎ合わされるためだ、とあなたは言うでしょう。 11:20 そのとおりです。彼らは不信仰によって折られ、あなたは信仰によって立っています。高ぶらないで、かえって恐れなさい。 11:21 もし神が台木の枝を惜しまれなかったとすれば、あなたをも惜しまれないでしょう。 11:22 見てごらんください。神のいつくしみときびしさを。倒れた者の上にあるのは、きびしさです。あなたの上にあるのは、神のいつくしみです。ただし、あなたがそのいつくしみの中にとどまっていればであって、そうでなければ、あなたも切り落とされるのです。 11:23 彼らであっても、もし不信仰を続けなければ、つぎ合わされるのです。神は、彼らを再びつぎ合わすことができるのです。 11:24 もしあなたが、野生種であるオリーブの木から切り取られ、もとの性質に反して、栽培されたオリーブの木につがれたのであれば、これらの栽培種のもの、もっとたやすく自分の台木につがれるはずですよ。 11:25 兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知っていただきたい。それは、あなたがたが自分で自分を賢いと思えないようにするためです。その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなになったのは異邦人の完成のなる時までであり、 11:26 こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。こう書かれているとおりです。「救う者がシオンから出て、ヤコブから不敬虔を取り払う。 11:27 これこそ、彼らに与えたわたしの契約である。それは、わたしが彼らの罪を取り除く時である。」

私たちは恵まれた時代に生きています。ユダヤ人ではない異邦人がキリストのもとに来て、ユダヤ人の木につぎ合わされることが可能なのです。

私は、黙示録の教えに基づき、イエスの再臨の前後に多くのユダヤ人がキリストへと立ち返ると信じています。

アブラハム、イサク、ヤコブへの約束は、まだ完全に成就していません。ですから、それらは未来に起こることと考えられます。

それなら、まだ成就していない預言があってもおかしくはありません。

次に、「悔い改め」が人の現在と未来を変えることを理解しましょう。

仮に、あなたは息子を持つ父親だと想像してみてください。その息子には、アルコールやドラッグの依存症があります。

その子の寿命は長くないと思うでしょう。けれども、アルコールやドラッグを断ち切れれば、寿命も少しは延びるかもしれません。

預言も同じように考える必要があります。

人が悔い改めれば、神は約束なされたことを思い直されます。

ヨナ書を読めば、そのことがわかります。

(ヨナ 3 : 10-4 : 2 参照)

この真理は、エレミヤ 18 : 7-10 にも明白に示されています。

#### エレミヤ 18 : 7-10

18:7 わたしが、一つの国、一つの王国について、引き抜き、引き倒し、滅ぼすと語ったその時、 18:8 もし、わたしがわざわいを予告したその民が、悔い改めるなら、わたしは、下そうと思っていたわざわいを思い直す。 18:9 わたしが、一つの国、一つの王国について、建て直し、植えると語ったその時、 18:10 もし、それがわたしの声に聞き従わず、わたしの目の前に悪を行うなら、わたしは、それに与えると言ったしあわせを思い直す。

#### **(2) 神が民をカナンの地に連れ帰られる前に死ぬヤコブの息子たちにとって、この預言はどういう意味があったか。**

ヤコブの息子たちに対する預言のおもな目的は、彼らの品性と行いが自分たちの将来だけでなく未来の子孫にまで影響を与えると知らせることでした。それは今日も同じです。親の素行が悪ければ、子どもも何らかの影響を受けるでしょう。

#### 申命記 5 : 9、29-33

5:9 それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、【主】であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、

5:29 どうか、彼らの心がこのようであって、いつまでも、わたしを恐れ、わたしのすべての命令を守るように。そうして、彼らも、その子孫も、永久にしあわせになるように。

5:30 さあ、彼らに、『あなたがたは、自分の天幕に帰りなさい』と言え。 5:31 しかし、あなたは、わたしとともにここにとどまれ。わたしは、あなたが彼らに教えるすべての命令——おきてと定め——を、あなたに告げよう。彼らは、わたしが与えて所有させようとしているその地で、それを行うのだ。」 5:32 あなたがたは、あなたがたの神、【主】が命じられたとおりに守り行いなさい。右にも左にもそれではならない。 5:33 あなたがたの神、【主】が命じられたすべての道を歩まなければならない。あなたがたが生き、しあわせになり、あなたがたが所有する地で、長く生きるためである。

#### **(3) モーセはなぜヤコブの言葉を記録したのか。**

モーセがヤコブの言葉を書き残した理由も、同じです。

たいていの場合、悔い改めがない限り今の行いが将来を左右するというのを、モーセはイスラエルの民に教えようとしていました。

#### **(4) ユダも過去に同様の罪を犯しているのに、なぜルベン、シメオン、レビだけが父親から叱責を受けたのか。**

一言で答えると、ユダが罪を悔い改めて、行いを改めたからです。

一方、他の兄弟たちが悔い改めたり、行いを改めたことは記されていません。

#### **(5) これらの預言から、私たちの未来を形作る教えは何か。**

まず、私たちの多くは今を生きるのに精いっぱい将来のことまで考えが及んでいないことを認識しましょう。

しかし、「信仰」は現在より未来に重きを置くと、聖書は教えます。

へブル 11:1 信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

私たちには、今現在目に見える地上の物事に希望を託してしまう危険性があります。

私たちは、クリスチャンとして未来に注目することに慣れていません。

### ペテロ第一 1 : 3-5

**1:3** 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちが新しく生まれさせて、生ける望みを持つようにしてくださいました。**1:4** また、朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これはあなたがたのために、天にたくわえられているのです。**1:5** あなたがたは、信仰により、神の御力によって守られており、終わりのときに現されるように用意されている救いをいただくのです。

次に、常に未来を見据えながら現在を生きる必要性を学びましょう。

つまり、自分の未来をしっかりと認識していれば、今現在の生き方が正されるはずだということ。

クリスチャンは平和と清廉のうちに生きるべきです。

### ペテロ第二 3 : 10-13

**3:10** しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。**3:11** このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならぬことでしょうか。**3:12** そのようにして、神の日の来るのを待ち望み、その日の来るのを早めなければなりません。その日が来れば、そのために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまいます。**3:13** しかし、私たちは、神の約束に従って、正義の住む新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

モーセの生き方は、この教えの模範を示してくれます。

### ヘブル 11 : 24-26

**11:24** 信仰によって、モーセは成人したとき、パロの娘の子と呼ばれることを拒み、**11:25** はかない罪の楽しみを受けるよりは、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。**11:26** 彼は、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる大きな富としました。彼は報いとして与えられるものから目を離さなかったのです。

最後に、私たちはこれらの預言から神の恵みについて学ぶことができます。

ユダは罪を犯した過去があるにもかかわらず、救い主がその子孫から出るという預言を受けました。

これは、主イエス・キリストを信じる信仰による恵みのメッセージです。

福音のメッセージは、ユダの人生をとおしてもはっきりと示されています。

ユダは罪を犯しましたが、その罪を悔い改めたので、神の助けを得て、変わることができました。

ユダは神の愛と助けを受けるのにふさわしい人ではありませんでしたが、私たちもそれは同じです。

それでも、私たちが罪を悔い改めて神のもとに行くなら、神はあふれんばかりの祝福を私たちに注いでくださいます。

中でも最大の祝福は、内住の聖霊です。

聖霊は、私たちがイエスに似た者としてくださり、天国での永遠の未来のために私たちに備えてくださいます。

聖霊をいただく資格のある人は誰もいません。それでも、主イエス・キリストを信じるなら、誰もがこの祝福をいただけるのです。

アーメン。